

発車時は何が優先？ 安全より喚呼が優先？

8月4日、467A担当運転士が名古屋駅停車中、桜田助役が添乗してきて、いきなり「発車のカウントダウンをやらなかった」と言いがかりを付けてきました。

そもそも、当該運転士は「運転士基本動作集」に則り、発車1分前に「カウントダウン」をしていました。桜田助役が運転室に入室してきたのは、発車時刻の1分を切ってからでした。

当該運転士は「発車の30秒前、15秒前にやる必要はあるのですか？」と問うと、桜田助役は「30秒前はやれる」と応えました。

ところが、2ヶ月前に中嶋助役が同列車、同区間添乗の時に、「30秒前のカウントダウンは必要ない」と言われていました。そしてその時の中嶋助役に指導されたことを桜田助役に言うと、「助役によって差はある」としその後、桜田助役は「さっきのカウントダウンは保留にします」と話を変えてきました。最後に「黙っていれば良い」とハッキリしない曖昧な指導のまま終わりました。

このことは、自分自身の指導に自信がなかったため急に事象を隠蔽し、何もなかったことにしたばかりか、発車に集中している運転士に対して、管理者に聞かすだけが目的になっている喚呼を強要し、とても安全を目的としたものとは微塵もないものでした。

管理者により差がある指導！

会社は、「ボーナスカット本人訴訟」の被告・会社準備書面にこう展開しています～「～個別具体的な事象は管理者ミーティングによって指導方針の意思統一も行っており、また、管理者に対し注意指導した非違行為について報告をさせているため、これによって注意指導に差が出るものではない。」と。

ところが、現実には管理者により指導が異なり、乗務員が戸惑うケースが度々発生しています。

会社は、管理者による指導の差をなくし、「管理者に聞かすだけ」が目的の「喚呼第一、安全第二」から「安全優先」に徹するべきではないでしょうか！？